



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日
東

上場会社名 ジオスター株式会社 上場取引所
 コード番号 5282 URL https://www.geostr.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 端山 真吾
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部 (氏名) 古橋 義孝 (TEL) 03-5844-1201
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	27,832	△18.8	1,403	△60.0	1,413	△59.7	528	△73.9
2019年3月期	34,266	1.9	3,504	3.5	3,507	3.5	2,022	△8.0

(注) 包括利益 2020年3月期 211百万円(△88.4%) 2019年3月期 1,829百万円(△26.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	16.89	-	2.7	4.5	5.0
2019年3月期	64.65	-	10.6	10.5	10.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	30,148	19,569	64.9	625.51
2019年3月期	32,966	19,541	60.0	632.19

(参考) 自己資本 2020年3月期 19,569百万円 2019年3月期 19,777百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	222	△905	△453	1,766
2019年3月期	4,392	△796	△2,536	2,905

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	5.00	-	14.50	19.50	610	30.2	3.2
2020年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00	156	29.6	0.8
2021年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 当社は、定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2021年3月期の配当については、現在のところ具体的な金額は未定であります。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,600	1.3	100	△89.5	100	△89.4	50	△73.0	1.60
通期	30,800	10.7	800	△43.0	800	△43.4	500	△5.4	15.98

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 一社（社名） 、除外 2社（社名） GEOSTR-RV PTE. LTD.
 GEOSTR-RV(M) SDN. BHD.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	31,530,000株	2019年3月期	31,530,000株
2020年3月期	245,033株	2019年3月期	245,033株
2020年3月期	31,284,967株	2019年3月期	31,284,967株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	27,084	△18.3	1,463	△58.4	1,486	△58.0	544	△73.3
2019年3月期	33,134	2.9	3,516	9.2	3,536	9.6	2,044	9.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	17.42		-					
2019年3月期	65.34		-					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	円 銭
2020年3月期	29,082		18,642		64.1	595.91		
2019年3月期	31,312		18,919		60.4	604.73		

(参考) 自己資本 2020年3月期 18,642百万円 2019年3月期 18,919百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
第2四半期(累計)	13,400	2.6	150	△86.0	150	△86.3	100	△67.5	3.20	
通 期	30,300	11.9	800	△45.3	800	△46.2	500	△8.3	15.98	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年6月2日（火）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。
 当日使用する決算補足説明資料につきましては、説明会の開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	
役員の異動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、第3四半期までは、消費税率引上げにより弱含みの懸念があったものの横ばい圏で推移してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は年度末にかけて急速に悪化しました。個人消費及び鉱工業生産は、いずれも急速に減少しており、堅調に推移してきた設備投資も不透明感が強くなっております。今後の先行きについては、極めて厳しい状況が続くと見込まれ、新型コロナウイルス感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。

当社グループの属する土木業界につきましては、建設技能労働者及び輸送従事労働者の不足傾向はあるものの、公共投資は底堅く推移しており、先行きについても関連予算の執行による効果が期待されています。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、顧客において工事が中断されるなど、今後については予断を許さない状況となりつつあります。

このような状況下、当社グループは、国内においては大型セグメントに留まらず中小セグメント、土木製品等の新規受注ならびに生産の積み増しに努めると共に、徹底した原価低減を行い収益力向上に努めてまいりました。特にリニア中央新幹線の第一首都圏トンネル（北品川工区）で使用するRCセグメントについては、工事の施工会社から2018年度に受注し、2019年度7月より生産を開始しました。一方、海外においてはシンガポールのセグメント需要を捕捉すべく連結子会社のGEOSTR-RV PTE. LTD. を設立し、現地生産化を進めながら事業展開を図ってまいりましたが、近年のシンガポールセグメント市場の需給環境悪化を受けて事業採算性が悪化し、今後も大幅な回復は困難と思われることを踏まえ、選択と集中の観点から、同社の株式のすべてを合弁相手先であるRobin Village International Pte. Ltd. に譲渡いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、当期が大型物件の端境期であり、加えて一部翌期へずれ込んだことも含め大型物件の生産・売上が減少したこと、能力増強を行った他社との競争が激化したこと等の影響により、売上高278億32百万円（前連結会計年度比18.8%減）、営業利益14億3百万円（前連結会計年度比60.0%減）、経常利益14億13百万円（前連結会計年度比59.7%減）と減収減益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失に計上した連結子会社事業譲渡による関係会社事業損失5億69百万円の影響等により5億28百万円（前連結会計年度比73.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における連結総資産は、原材料及び貯蔵品（前連結会計年度増減額8億4百万円）、商品及び製品（同7億40百万円）等が増加したものの、仕掛品（同△13億90百万円）、未収入金（同△8億72百万円）、預け金（同△7億51百万円）、受取手形及び売掛金（同△6億90百万円）等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ28億18百万円減少し、301億48百万円となりました。

負債は、長短借入金（同△8億70百万円）、未払法人税等（同△6億69百万円）、支払手形及び買掛金（同△5億85百万円）等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ28億45百万円減少し、105億79百万円となりました。

純資産は、利益剰余金（同74百万円）、その他有価証券評価差額金（同△3億65百万円）、非支配株主持分（同2億36百万円）が増減したこと等により、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、195億69百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は64.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11億39百万円減少し、17億66百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億22百万円の収入（前連結会計年度は43億92百万円の収入）となりました。税金等調整前当期純利益は7億72百万円でありましたが、減価償却費（9億16百万円）、売上債権の減少額（4億56百万円）、未収入金の減少額（8億69百万円）等の増加要因と、法人税等の支払額（△12億40百万円）、関係会社事業損失の支払額（△9億92百万円）、仕入債務の減少額（△5億31百万円）等の減少要因を加減算したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9億5百万円の支出（前連結会計年度は7億96百万円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出（△7億19百万円）が主なものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億53百万円の支出（前連結会計年度は25億36百万円の支出）となりました。配当金の支払額（△4億53百万円）が主なものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	52.5	52.1	54.2	60.0	64.9
時価ベースの自己資本比率(%)	92.4	109.6	59.6	40.9	30.8
債務償還年数(年)	5.6	0.9	2.1	0.5	5.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	45.6	233.4	99.3	187.8	13.6

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

*各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(4) 今後の見通し

(次期の経営成績の見通し)

今後につきましては、生産量・売上高は増加するものの、主力であるセグメント製品の市場環境の悪化から収益率が大幅に低下し、増収減益となる見込みであります。当社グループといたしましては、リニア中央新幹線等の大型セグメントに留まらず中小セグメントを確実に受注すると共に、土木製品につきましても受注拡大を図り、また新規商品の開発・技術提案力の強化に努めてまいります。併せて、調達改革・固定費適正化など抜本的なコスト削減を実行し、収益確保に努めてまいります。

このような状況を踏まえ、当社グループの2021年3月期の連結業績見通しは、売上高308億円、営業利益・経常利益8億円、親会社株主に帰属する当期純利益5億円を見込んでおります（個別は売上高303億円、営業利益・経常利益8億円、当期純利益5億円）。また、第2四半期累計期間の連結業績見通しは、売上高136億円、営業利益・経常利益1億円、親会社株主に帰属する当期純利益0.5億円を見込んでおります（個別は売上高134億円、営業利益・経常利益1.5億円、当期純利益1億円）。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、今回の見通しには織り込んでおりません。

(次期の配当の見通し)

これまで剰余金の配当に関しましては、当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と持続性を目指し、収益状況に対応した安定適正な配当維持に努力することを基本方針とし、また、内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えてまいりました。今般、株主の皆様への利益還元方針をより明確化する観点から、次期（2020年度）の剰余金の配当から、これを以下の通り見直すことといたしました。すなわち、当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と持続性を目指し、収益状況に対応した適正な配当維持に努力することを基本方針としております。また、内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。収益状況に対応した適正な配当の指標としては、連結配当性向年間30%程度を目安とします。

なお、次期の剰余金の配当については、現在のところ具体的な金額は未定です。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,137,170	748,894
預け金	1,768,441	1,017,145
受取手形及び売掛金	7,776,671	7,086,584
商品及び製品	4,474,434	5,214,642
仕掛品	2,400,703	1,010,656
原材料及び貯蔵品	1,347,995	2,152,995
未収入金	3,627,811	2,754,980
未収還付法人税等	-	324,982
その他	285,082	279,766
貸倒引当金	-	△581
流動資産合計	22,818,311	20,590,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,387,557	7,546,209
減価償却累計額	△5,373,937	△5,549,908
建物及び構築物（純額）	2,013,620	1,996,300
機械装置及び運搬具	9,629,181	9,718,196
減価償却累計額	△7,700,626	△7,966,315
機械装置及び運搬具（純額）	1,928,554	1,751,880
土地	4,279,748	4,274,332
リース資産	57,420	54,492
減価償却累計額	△35,122	△32,247
リース資産（純額）	22,297	22,244
建設仮勘定	50,726	25,838
その他	1,224,157	1,239,264
減価償却累計額	△1,040,207	△1,033,855
その他（純額）	183,949	205,408
有形固定資産合計	8,478,897	8,276,004
無形固定資産		
その他	128,763	164,663
無形固定資産合計	128,763	164,663
投資その他の資産		
投資有価証券	1,299,245	762,960
繰延税金資産	107,144	256,201
その他	141,950	108,338
貸倒引当金	△7,500	△9,638
投資その他の資産合計	1,540,839	1,117,861
固定資産合計	10,148,500	9,558,529
資産合計	32,966,812	30,148,596

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,966,479	4,381,232
短期借入金	1,120,637	150,000
前受金	1,364,580	1,423,968
リース債務	11,986	9,695
未払法人税等	669,562	-
未払消費税等	292,316	14,659
未払金	2,622,659	2,342,856
賞与引当金	480,347	467,659
関係会社事業損失引当金	144,796	-
受注損失引当金	14,610	141,626
訴訟損失引当金	13,500	29,200
その他	168,771	82,278
流動負債合計	11,870,248	9,043,176
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,100,000
リース債務	12,111	14,603
役員退職慰労引当金	122,959	98,487
退職給付に係る負債	323,792	232,807
資産除去債務	89,060	89,323
その他	7,133	1,000
固定負債合計	1,555,057	1,536,221
負債合計	13,425,306	10,579,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,352,250	3,352,250
資本剰余金	4,384,580	4,384,580
利益剰余金	11,667,060	11,741,770
自己株式	△28,670	△28,670
株主資本合計	19,375,220	19,449,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	553,902	188,561
為替換算調整勘定	△47,906	-
退職給付に係る調整累計額	△103,266	△69,294
その他の包括利益累計額合計	402,728	119,267
非支配株主持分	△236,443	-
純資産合計	19,541,505	19,569,198
負債純資産合計	32,966,812	30,148,596

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	34,266,663	27,832,989
売上原価	27,311,323	23,251,338
売上総利益	6,955,339	4,581,651
販売費及び一般管理費		
販売費	988,115	907,815
一般管理費	2,462,535	2,270,307
販売費及び一般管理費合計	3,450,650	3,178,123
営業利益	3,504,689	1,403,528
営業外収益		
受取利息	593	1,719
受取配当金	12,770	12,725
固定資産売却益	4,121	1,827
貸倒引当金戻入額	9,044	-
その他	11,017	14,395
営業外収益合計	37,547	30,668
営業外費用		
支払利息	23,375	16,110
為替差損	5,620	2,450
P C B 処理費用	4,193	-
その他	1,990	1,819
営業外費用合計	35,179	20,380
経常利益	3,507,056	1,413,816
特別利益		
投資有価証券売却益	-	7,904
受取保険金	-	6,101
固定資産売却益	741	383
特別利益合計	741	14,389
特別損失		
関係会社事業損失	601,444	569,581
固定資産除売却損	8,387	40,819
訴訟関連損失	13,500	31,391
災害による損失	-	11,381
ゴルフ会員権評価損	650	2,550
特別損失合計	623,981	655,724
税金等調整前当期純利益	2,883,816	772,481
法人税、住民税及び事業税	1,246,327	281,884
法人税等調整額	△113,766	△4,458
法人税等合計	1,132,560	277,426
当期純利益	1,751,255	495,055
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△271,369	△33,286
親会社株主に帰属する当期純利益	2,022,625	528,342

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,751,255	495,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,270	△365,340
為替換算調整勘定	△2,500	48,068
退職給付に係る調整額	17,481	33,972
その他の包括利益合計	78,251	△283,299
包括利益	1,829,507	211,756
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,102,102	244,880
非支配株主に係る包括利益	△272,594	△33,124

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,352,250	4,384,580	10,301,419	△28,670	18,009,579
当期変動額					
剰余金の配当			△656,984		△656,984
親会社株主に 帰属する当期純利益			2,022,625		2,022,625
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,365,640	-	1,365,640
当期末残高	3,352,250	4,384,580	11,667,060	△28,670	19,375,220

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	490,632	△46,631	△120,748	323,251	36,151	18,368,983
当期変動額						
剰余金の配当						△656,984
親会社株主に 帰属する当期純利益						2,022,625
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	63,270	△1,275	17,481	79,476	△272,594	△193,117
当期変動額合計	63,270	△1,275	17,481	79,476	△272,594	1,172,522
当期末残高	553,902	△47,906	△103,266	402,728	△236,443	19,541,505

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,352,250	4,384,580	11,667,060	△28,670	19,375,220
当期変動額					
剰余金の配当			△453,632		△453,632
親会社株主に 帰属する当期純利益			528,342		528,342
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					
当期変動額合計	-	-	74,710	-	74,710
当期末残高	3,352,250	4,384,580	11,741,770	△28,670	19,449,930

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	553,902	△47,906	△103,266	402,728	△236,443	19,541,505
当期変動額						
剰余金の配当						△453,632
親会社株主に 帰属する当期純利益						528,342
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	△365,340	47,906	33,972	△283,461	236,443	△47,018
当期変動額合計	△365,340	47,906	33,972	△283,461	236,443	27,692
当期末残高	188,561	-	△69,294	119,267	-	19,569,198

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,883,816	772,481
減価償却費	1,165,863	916,914
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,044	2,719
受取利息及び受取配当金	△13,363	△14,445
支払利息	23,375	16,110
固定資産除売却損益 (△は益)	3,523	38,608
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△7,904
受取保険金	-	△6,101
関係会社事業損失	601,444	569,581
訴訟関連損失	13,500	31,391
災害損失	-	11,381
ゴルフ会員権評価損	650	2,550
売上債権の増減額 (△は増加)	955,196	456,906
たな卸資産の増減額 (△は増加)	146,627	△230,788
未収入金の増減額 (△は増加)	△14,099	869,563
仕入債務の増減額 (△は減少)	△759,841	△531,538
前受金の増減額 (△は減少)	350,225	212,297
その他	428,229	△635,550
小計	5,776,104	2,474,178
利息及び配当金の受取額	13,363	14,445
利息の支払額	△23,389	△16,284
保険金の受取額	-	6,101
関係会社事業損失の支払額	-	△992,390
訴訟関連損失の支払額	-	△15,908
災害損失の支払額	-	△7,384
法人税等の支払額	△1,373,482	△1,240,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,392,596	222,037
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△150,007
有形固定資産の取得による支出	△741,448	△719,148
有形固定資産の売却による収入	9,118	9,520
投資有価証券の売却による収入	-	20,919
その他	△64,605	△66,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△796,935	△905,276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,866,081	114,447
長期借入れによる収入	1,000,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,000,000	△200,000
配当金の支払額	△656,308	△453,664
リース債務の返済による支出	△14,148	△13,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,536,538	△453,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,543	△3,315
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,054,579	△1,139,572
現金及び現金同等物の期首残高	1,851,033	2,905,612
現金及び現金同等物の期末残高	2,905,612	1,766,039

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(会計方針の変更)

該当する事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当する事項はありません。

(修正再表示)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、土木事業の単一セグメントであり、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	632.19円	625.51円
1株当たり当期純利益	64.65円	16.89円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,022,625	528,340
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,022,625	528,340
普通株式の期中平均株式数(株)	31,284,967	31,284,967

(重要な後発事象)

該当する事項はありません。

なお、上記以外の注記につきましては、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

該当する事項はありません。

② その他の役員の変動

本日（2020年5月15日）開示いたしました「役員等の変動に関するお知らせ」をご参照ください。